

科目名	建築計画Ⅱ	英語科目名	Architectural PlanningⅡ	
開講年度・学期	平成28年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科4年	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修*	
単位数	2単位	単位種類	学修単位(講義A)	
担当教員	尾立 弘史	居室(もしくは所属)	建築棟1階ギャラリー内	
電話	内線 835	E-mail	oryu@小山高専ドメイン	
授業の到達目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準	
	1. 建築種別に計画上の一般的ルールや留意点等の基本的事項を説明できる。	④	A	d-1
	2. 建築種別に必要な空間機能を説明できる。	④	A	d-1
3. 建築計画や各種建築物の計画関連用語等を理解し、説明できる。	④	A	d-1	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
到達目標1～3は、中間試験と期末試験の成績で評価するとともに、課題に対する小テストを評価し、試験の評価と小テストの評価を合わせて60%以上のものを達成とする。 テストには自宅学習(関連事項)の内容が含まれる。				
評価方法				
評価は以下の2項目の加重平均によって行う。 1. 中間試験、定期試験(50%) 2. 小テストの回答内容(50%)				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
1、学校	左記授業内容の復習および関連事項の学習。 翌週小テストを行う。		4	
2、保育所・幼稚園	同上、以下同じ		4	
3、エコスクール、オープンスクール			4	
4、交流施設の種類と配置方式			4	
5、交流施設(集会、文化、運動)			4	
6、公共サービス・庁舎他			4	
7、医療施設			4	
8、中間試験			4	
9、図書館			4	
10、展示施設・美術館			4	
11、芸能空間、劇場			4	
12、宿泊施設			4	
13、事務所建築			4	
14、避難、法規			4	
15、各種建築のまとめ			4	
【定期試験】				
自学自習時間合計			60	
キーワード	建築物、空間機能、設計条件、用語			
教科書	特になし。必要に応じ随時プリント等を配布。			
参考書	建築設計資料集成(日本建築学会)、各種建築雑誌(新建築等々)等々。			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築計画ⅠA、ⅠB、インテリアデザイン			
現学年の関連科目	建築設計ⅡA、B			
次年度以降の関連科目	建築計画Ⅲ、現代建築論			
連絡事項				
1. 毎回原則として授業開始時に前回の小テストを行う。必ず復習をしておくこと 2. 予習：講義対象施設をあらかじめ見学しておくこと。時間的に対応できない場合は、最低限、建築雑誌等で類似施設をみておくこと。 3. 百聞は一見にしかずということもあり、機会を見つけてなるべく多くの、いろいろな機能の地域施設の見学を心がけることを切望する				
シラバス作成年月日	平成28年2月5日			